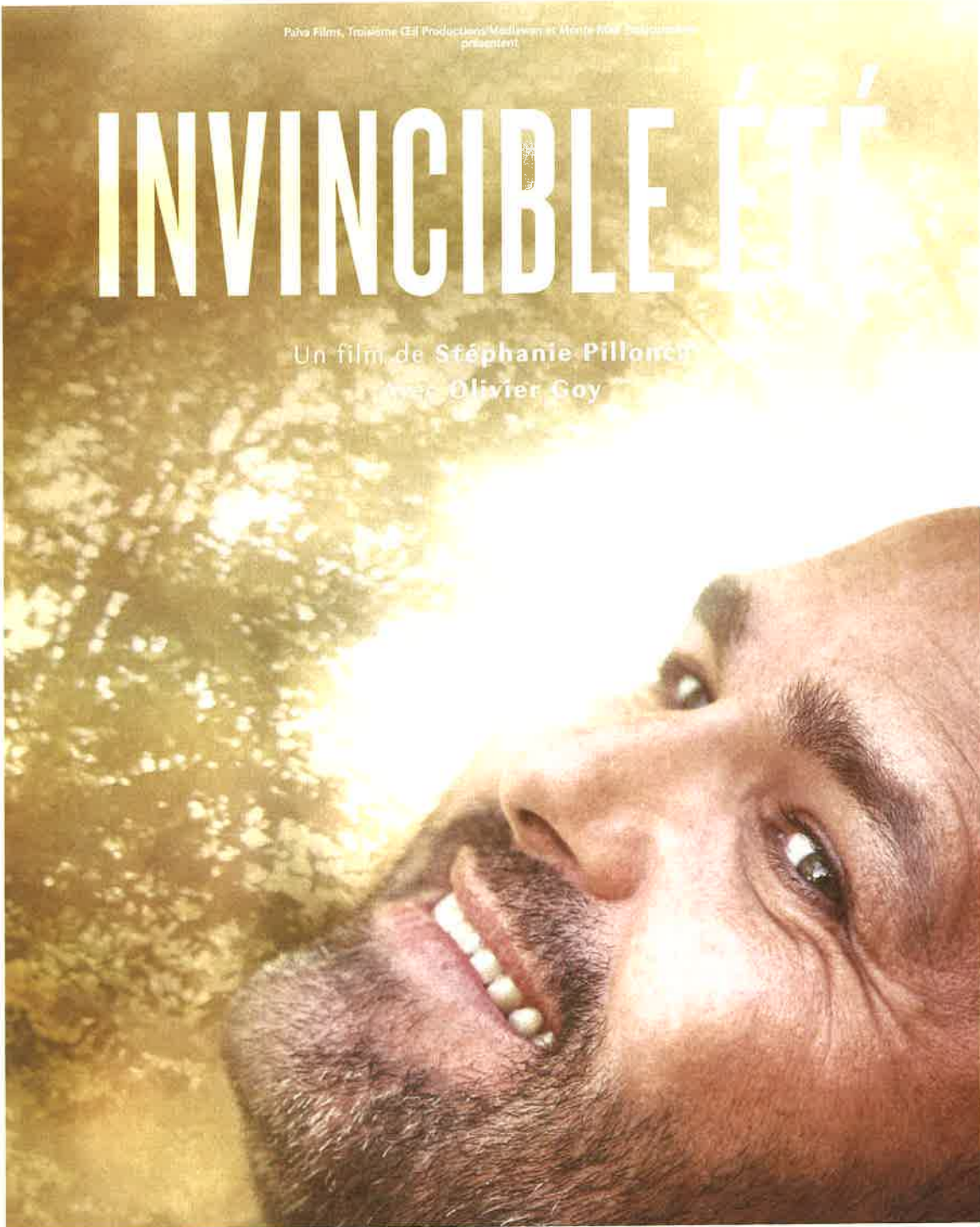


映画『不屈の夏』
和歌山上映講演会

不屈の夏

「余命はおそらく三年で、治療法はない。」
二〇二〇年十二月のある朝、
オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。
しかし、オリヴィエはこのカウントダウンを無視することに決めた。
障がいを乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、
家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。



INVINCIBLE ÉTÉ

Un film de Stéphanie Pillonnet
avec Olivier Goy

令和6年

日時

3月24日(日)

13時30分～15時40分

会場

和歌山県立図書館文化情報センター

メディア・アート・ホール (和歌山市西高松一丁目7番38号)

主催

映画「アンバンシブルエテ (不屈の夏)」特別上映会実行委員会 in 和歌山

最大300名
入場無料
全席自由

【お問い合わせ】 TEL.073-422-8822 FAX.073-494-3591 (担当：森)

映画『不屈の夏』 和歌山上映講演会



予告動画

このドキュメンタリーは、
すべての人に手を差し伸べるものだ。
些細なことでもただけ
自分の人生を台無しにしていたか、
そして人生がどれほど美しいことか。

主演 オリヴィエ・ゴア



Story ～ストーリー～



「余命はおそらく3年で、治療法はない。」

2020年12月のある朝、オリヴィエ・ゴアは筋萎縮性側索硬化症（ALS）と診断された。

しかし、彼はこのカウントダウンを無視することに決めた。障がい乗り越え、自分の人生に残された時間を全うし、家族とともに笑顔で精一杯生きる新たな人生に乗り出す。

このドキュメンタリーは、テクノロジーに情熱を注ぐ企業家として、家族を守りたいと願う父として、そして不治の病に冒された患者として、オリヴィエの新しい日常を追う。

「不屈の夏」は明らかに人生と愛への賛歌である。
暗いものは何もない。美しさ、笑い、時に涙がある。

Message ～開催にかける思い～

不治の病である ALS 患者のオリヴィエが、真正面から病気に向き合い、他の病を背負った人達を力づけている姿が力強く印象に残ります。また家族が衝撃を乗り越えて、彼の思いを共に達成しようとする姿にも胸を打たれます。

彼のメッセージは ALS 患者のみならず様々な苦難に打ちひしがれている日本の方にも伝わるはずと、昨年11月に東京で初めて試写会が行われ大成功、その後国内で個別上映会が開催され、今回和歌山でも上映の機会を頂きました。困難に立ち向かうオリヴィエと彼を支える家族の笑顔と勇気が、皆様の力となれば幸いです。

【主催】

映画「アンバシブルエテ（不屈の夏）」特別上映会実行委員会 in 和歌山

委員長（呼びかけ人）：北畑 達哉（令和5年8月にALSを発症）

顧問：木下 久徳（あさかクリニック 副院長）

企画・相談役：森 礼子（和歌山県議会議員）

【後援】

和歌山県、和歌山市、和歌山県社会福祉協議会

【後援・協力】（順不同・敬称略）

和歌山県福祉事業団、和歌山アゼリアロータリークラブ、
和歌山城南ロータリークラブ、木ノ本東自治会、
一般社団法人すこやかさゆたかさの未来研究所、
（株）阪口興産、医療法人博文会 児玉 敏宏、関口 一